

平成29年度(2017年度)

管理事業名	文化会館事業				総合計画の体系	第4章 第4節	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 多彩な文化が交流するまちづくり		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 31	文化会館費		
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室						
予算大事業名	文化会館管理事業								
事業の目的と概要	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名								
<p>事業の目的と概要</p> <p>市民文化の向上を目的に、大・中・小ホールを中心に展示室、レセプションホール、練習室、集会室、会議室などの施設の管理運営、催し物を円滑に進行し、可能な限りの演出効果を得られるように、舞台関係諸設備の一切についての安全確認・確保及び万全の準備と操作・設備点検などの舞台管理を行います。平成29年度は1年間文化会館を休館し、改修を行いました。</p>									

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
開館日数	日	332	331	-	年度内開館日数 (当年度の日数-(保守点検日+臨時休館日+年末年始休館日))
利用率	%	63.2	62.3	-	年間のホール及び諸室の午前・午後・夜間の区分毎(以下「コマ」と表記)にみた利用率(年間利用コマ数合計/年間提供コマ数合計)
入場者数	人	485,878	439,555	-	ホール及び諸室の入場者数
成果の説明	平成29年度は1年間文化会館を休館し、改修を行いました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	84,499	45,754	34,414	△11,340
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	10,946	7,288	△7	△7,294
経常収入 小計(a)	95,445	53,041	34,407	△18,634
給与関係費	20,207	11,488	11,440	△48
物件費	341,347	356,948	329,760	△27,189
維持補修費	9,504	9,929	116,394	106,465
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	423	239	14	△225
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	141,736	141,736	142,444	708
徴収不能引当金繰入額	-	38	-	△38
賞与引当金繰入額	1,519	989	1,003	14
退職手当引当金繰入額	11,651	△5,633	746	6,379
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	526,386	515,732	601,800	86,068
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△430,941	△462,691	△567,392	△104,701
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	5,320	-	△5,320
特別収入 小計(d)	-	5,320	-	△5,320
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	5,320	-	△5,320
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△430,941	△457,371	△567,392	△110,021
一般財源充当額	278,707	406,696	415,247	8,550
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△152,235	△50,675	△152,146	△101,471

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
経常収入 使用料及び 手数料	文化会館使用料 34,414千円 (平成30年度使用申込に伴う収入)
経常収入 その他	自動販売機電気代 62千円、コピー機使用料 5千円、用地占 用料 2千円、未収金徴収不能引当金繰入金 △76千円 レストラン休業のため電気代、使用料収入の減額となった。
物件費	吹田市文化会館指定管理に係る施設管理委託料 262,159千円 設備備品購入費 50,823千円ほか
維持補修費	大、中ホール舞台床修繕 46,440千円 内装修繕 21,600千円 集会室間仕切り修繕 6,480千円ほか

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	95,445	52,753	34,544	△18,209
行政サービス活動支出	374,152	381,173	459,673	78,501
行政サービス活動収支差額	△278,707	△328,420	△425,129	△96,709
投資活動収入	-	-	130,000	130,000
投資活動支出	-	78,276	534,717	456,441
投資活動収支差額	-	△78,276	△404,717	△326,441
財務活動収入	-	-	414,600	414,600
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	414,600	414,600
収支差額 合計	△278,707	△406,696	△415,247	△8,550
一般財源充当額	278,707	406,696	415,247	8,550
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の 主な内容	投資活動収入	公共施設等整備基金繰入
	投資活動支出	改修工事費
	財務活動収入	地方債

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
施設利用者1人あ たりのコスト	平成27年度	485,878 人	1,083 円	平成29年度は1年間文化会館を休館し、改修を行いました。
	平成28年度	439,555 人	1,173 円	
	平成29年度	-	- 円	
開館1日あたりのコ スト	平成27年度	332 日	1,585,500 円	平成29年度は1年間文化会館を休館し、改修を行いました。
	平成28年度	331 日	1,558,103 円	
	平成29年度	-	- 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	989	1,003	14
未収金	384	227	△157	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	989	1,003	14
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	△134	△114	20	リース債務	-	-	-
流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	3,965,697	4,354,450	388,752	固定負債	11,182	425,451	414,269
土地	2,597,020	2,597,020	-	地方債	-	414,600	414,600
建物・工作物	1,290,401	1,757,430	467,029	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	11,182	10,851	△331
建設仮勘定	78,276	-	△78,276	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	12,171	426,453	414,282
有形固定資産	-	-	-	純資産	4,180,297	4,158,151	△22,146
土地	-	-	-	重要物品	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
重要物品	26,520	30,041	3,521	出資金	200,000	200,000	-
図書館資料	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	基金	-	-	-
出資金	200,000	200,000	-	徴収不能引当金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	その他債権	-	-	-
基金	-	-	-	資産の部合計	4,192,468	4,584,604	392,137
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計	4,192,468	4,584,604	392,137
その他債権	-	-	-				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

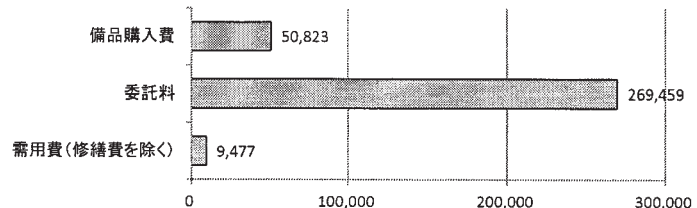
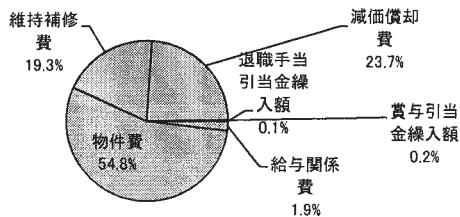
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	1.6	人				13,189
給与関係費等	13,189	千円				13,189
内、時間外勤務手当	0	千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	改修による増
重要物品	音響機器などの更新による増
地方債	改修による地方債

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市文化会館
取得年月日	昭和60年3月1日
建物・工作物の取得価額	6,419,822 千円
建物・工作物の減価償却累計額	4,662,392 千円
利用料金収入	34,414 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	差 B-A
			A	B	
施設維持補修費比率		0.2	0.2	1.8	1.6
施設老朽化比率		75.4	77.8	72.6	△ 5.2
受益者負担比率		16.1	8.9	5.7	△ 3.2
徴収不能引当率		100.0	34.8	50.0	15.2
一般財源充当比率		74.5	88.5	41.8	△ 46.7
経常費用対公共資産比率		9.1	8.9	9.4	0.5

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

改修したことにより、施設老朽化比率が減少しました。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

1年間の休館を経て、施設の利用率が以前より減少することが無いようにこれまで以上にサービスの充実が課題です。改修により、施設老朽化比率は減少しましたが、依然として70%を超える施設老朽化比率であり、社会経済情勢を見ながら大規模改修を実施する必要があります。